

か|か|み|が|は|ら 市議会だより

2021年11月発行

No. 184

3月 | 6月 | 9月 | 12月

令和3年9月定例会

議案概要

**令和2年度
決算・主な事業** P.3

委員会審査

**危険な空き家
市が解体・撤去** P.4

委員会審査

**4カ国語に対応
生活ハンドブック配付** P.5

一般質問

**決算を総括
感染症対策に注力** P.7

一般質問

**コロナ後の経済
3つの重点施策を実施** P.8

一般質問

**傾いた川島大橋
国に対し復旧を要望** P.9



表紙モデル：ミスかかみがはら（さくら）安藤風季さん（右側）



議場に電子表決システムを導入
（関連記事は2ページ）

今号の表紙
新庁舎高層棟オープン！

利用頻度の高い窓口を1・2階に集約。

明るく、すっきり、ゆとりある通路、分かりやすい案内表示、キッズスペースも併設され大変利用しやすい窓口となりました。

ぜひ一度ご来庁ください。

一般質問

**7人が
市政を問う** P.7~

令和3年9月定例会

議案概要

定例会を8月23日から9月14日までの23日間開催し、令和2年度一般会計決算の認定や、令和3年度一般会計補正予算をはじめとする28案件を審議しました。

予算に関する議案

令和3年度一般会計補正予算

当面の行政需要に対応するため、歳入歳出予算などの補正を行うもので、主なものは次のとおりです。

歳出の主なもの

▼障害者福祉対策費

障がい児者などが行方不明になった際、衣類に貼った二次元バーコードを発見者が読み取ると、家族などへ発見通知メールが届く「見守りシール」を配付するものです。23万7千円

▼商業振興対策費

中小事業者の支援と非接触型のキャッシュレス決済の推進を目的に、市内で対象の飲食店やタクシー事業者などへの支払いをQRコード決済で行った場合に、利用額の20%分のポイントを利用者に還元するキャンペーンを1カ月間実施するものです。2億453万9千円

▼高齢者福祉対策費

新型コロナウイルスの影響に

よる離職者の再就職の支援と、介護現場の人材不足の解消につなげるため、当該離職者が介護事業所に就職した場合などに給付金を支給するものです。

127万1千円



介護現場で働く職員（イメージ）

その他の議案

▼土地の取得

（仮称）各務山工業団地を南北に横断する市道各378号線などを整備するため、市土地開発公社から各務西町4丁目地内などの土地を取得するものです。5662万5千円

▼市議会会議規則の一部改正

議案に対する議員の賛成・反対の意思表示は、議場では主に起立により行っていました。新庁舎で導入した電子表決システム（賛成・反対の押しボタン）を使った方法も可能にすることなどを定めるものです。

これにより議員個人の賛成・反対の状況が明確に分かるようになります。

新型コロナウイルス

感染症に関する報告会

8月23日に、新型コロナウイルス感染症に関する市の現状を確認するため、報告会を行いました。

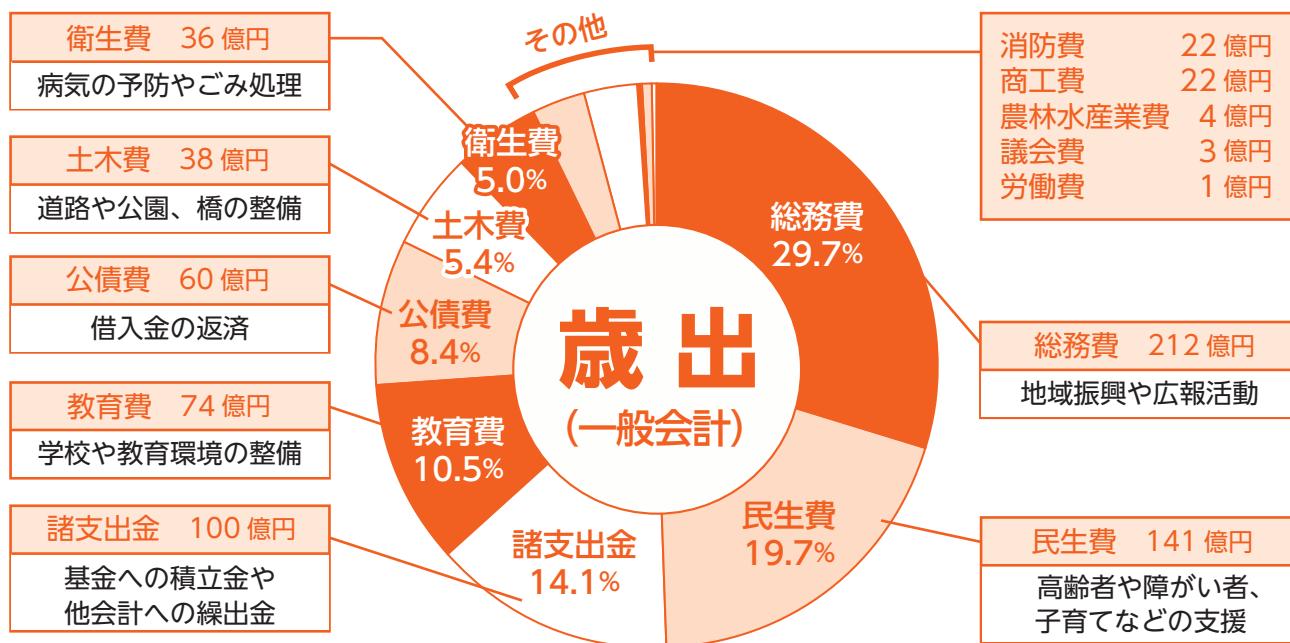
報告会では、新型コロナウイルスワクチン接種への対応について、市からの報告の後、議員から市に対し、質問と要望などを行いました。

市からは、①市独自の非常事態宣言を発出したこと②市のワクチン接種状況と供給状況③今後の接種計画④外国籍の方への対応⑤12歳から15歳の方への接種方針⑥今後の接種費用について報告がありました。

決算

令和2年度を振り返る

令和2年度一般会計で各務原市が使ったお金（歳出）713億4231万円の内訳を円グラフで示しています。入ってきたお金（歳入）は754億1698万円で、歳入と歳出の差40億7467万円は、繰越金として次の年度に使われます。



令和2年度の主な事業

プレミアム付商品券事業 (商工費)

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した事業者などを支援するため、全市民を対象に1セット1万円分の商品券を5千円（プレミアム率100%）で販売しました。

産後ケア事業 (衛生費)

家族などから十分な支援が受けられない、産後4カ月頃までの母子に対し、助産師による訪問など心身ケアや育児支援を行うことで、安心して子育てができる支援体制を確保しました。

桐野公園整備事業 (土木費)

「地域のさまざまな世代の方が憩える心安らぐ公園」をコンセプトに、大雨の際に一時的に水を溜めることのできる調整池機能を兼ね備えた、緑豊かな公園を整備しました。

まちづくり担い手

マッチング事業 (総務費)

まちづくり活動を行う団体の

「つながりづくり」を目的とした講演会や個別マッチングを実施しました。

避難所感染症対策資機材

購入事業 (消防費)

災害時における避難所の感染症対策を強化するため、マスクや消毒液、パーテーション、段ボールベッドなどの資機材を購入しました。

弓道場整備事業 (教育費)

鵜沼三ツ池町にあった旧弓道場の老朽化などに伴い、各務野スポーツの森東側に新たな弓道場を移転・整備しました。



令和3年1月に整備された新弓道場

委員会審査

議案を分野別に4つの委員会に分け、詳しく審査を行いました。
各委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

総務常任委員会

令和2年度一般会計決算

問 感染防止対策として救急隊員に代わり胸骨圧迫ができる自動式心臓マッサージ器を2台導入したが、その使用実績は。



中断なく胸骨圧迫が可能な自動式心臓マッサージ器

答 令和2年度に使用の訓練と検証を行い、令和3年6月から運用を開始し、これまでに6件使用した。

問 空き家となった建物を市が所有者に代わり行政代執行で解体したが、その内容は。

答 火災で焼失し倒壊の危険性があつた建物について、地元自治会などから相談があり、市から所有者に解体を促したが進展がなかった。

そこで、各務原市特定空家等審査会の答申を受け、その建物を「特定空家等」に認定した。

その後、法律に基づき、所有者に対して撤去の助言、指導、勧告、命令を段階的に行つたが進展がなかったため、最終的に市が解体して更地にした。

問 解体撤去に要した費用を所有者から回収できていないようだが、どうする予定か。

答 所有者に対して、費用の請求と督促をしたが経済的理由から納付がなかった。引き続き納付を促すとともに、現在差し押さえているその土地をインターネット公売し、その売却金を充てる予定である。

民生常任委員会

令和2年度一般会計決算

問 保育所等入所選考システムの導入によって自動化された内容とその成果は。

答 これまでは入所の申し込みを受け付けた後、職員が手作業で保育の必要性などに応じて採点し、点数順に並べ入所の選考をしていたが、それを自動で行うシステムを導入した。

導入により、申込者が多い4月入所分決定通知書の発送時期が1カ月早くなり、1月中旬に発送することができた。

問 令和元年度に瞑想の森に整備した、複数の方の遺骨を納める「合葬式墓地」の使用状況は。

答 令和2年度の使用許可数は127区画であつた。

令和2年度末までの使用許可数は686区画となり、全3500区画に対し、使用率は19・6%となった。



令和元年10月に整備した合葬式墓地

令和2年度国民健康保険事業 特別会計決算

問 特定健康診査などの受診者数と、受診率を向上させるために行った対策は。

答 受診者数は5224人で、受診率は36・6%の見込みである。

対策としては、対象者に受診を勧める文書やはがきを送るほか、過去3年間未受診の方を対象に電話勧奨を行った。

経済教育常任委員会

令和2年度一般会計決算

問 外国人のための生活ハンドブックの発行部数と配付方法は。

答 2800部発行し、言語別ではポルトガル語版が1000部、英語・中国語・ベトナム語版が各600部である。企業、学校、保育所、自治会などに郵送するとともに、市民課の窓口でも配付している。



安全・快適な生活を送るための情報を外国語で掲載

問 その他の言語の外国人からのさまざまな問い合わせにはどのように対応したのか。

答 市職員が19カ国語対応のコールセンターにつなぎ、来庁者の相談内容を確認しながら対応している。

問 オンライン合同企業説明会事業の成果と課題は。

答 通常の合同企業説明会に比べて非常に多くの学生に参加いただいた。

課題として、対面での説明会に比べ、企業が直に学生の反応を見ることができなかったとの声があった。

令和3年度一般会計補正予算

問 オリンピック関連で行った事業の内容は。

答 ホッケーオランダ女子代表の事前合宿の受け入れに伴うホストタウン事業として市内の小学校2校が選手とオンラインで交流したほか、小中学校・特別支援学校でオランダ料理を取り入れた給食を提供するなど行った。

問 キャッシュレス決済を用いたポイント還元キャンペーンの実施時期は。

答 コロナの収束などを視野に入れて、適切な時期を見極めたいと考えている。

建設水道常任委員会

令和2年度一般会計決算

問 市道の防護柵設置事業の対象箇所は。

答 センターラインのある交差点と、センターラインがなくても信号のある交差点など109カ所を対象とし、令和2年度は82カ所に設置した。



新たに設置した防護柵（JR鵜沼駅北側）

問 道路維持整備に関する自治会からの要望への対応状況は。

答 753件の自治会要望のうち609件に対応した。

問 市民公園リニューアルの整備を行うための概算事業費はいくらか。

答 古くなった箇所の最低限の補修だけを行うと約3億円かかり、基本計画に沿った整備を行うと最大約13億円かかると試算している。

令和2年度下水道事業会計決算

問 令和2年度に不明水（下水道管に何らかの理由で浸入する雨水や地下水など）が増えたがどう対応したのか。

答 原因を究明するため流量計などを設置し不明水のエリア特定に取り掛かっている。

問 下水道事業会計の財源不足を補うため、国の示した基準に合わない経費に対して一般会計から繰り入れる「基準外繰入」を行ったが、その状況は。

答 下水道使用料値上げ前の基準外繰入金は約3億円で、値上げ後は1億7600万円になった。

令和4年度に使用料の値上げを予定しているが、基準外繰入金はほぼゼロに近い額になると考えている。

審議の結果

令和 3 年 9 月定例会

議案等の審議の結果は以下のとおりです。

賛成全員…◎ 賛成多数…○ 賛成少数…△

議案等の種類	案 件 名	審議の結果	採決の状況
専決処分	専決処分の承認（令和 3 年度一般会計補正予算（第 6 号））	承認	◎
決算	令和 2 年度一般会計決算の認定	認定	○
	令和 2 年度国民健康保険事業特別会計決算の認定	認定	◎
	令和 2 年度介護保険事業特別会計決算の認定	認定	◎
	令和 2 年度後期高齢者医療事業特別会計決算の認定	認定	○
	令和 2 年度水道事業会計決算の認定	認定	◎
	令和 2 年度下水道事業会計決算の認定	認定	○
補正予算	令和 3 年度一般会計補正予算（第 7 号）	可決	◎
	// （第 8 号）	可決	○
	// （第 9 号）	可決	◎
	令和 3 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決	◎
条例	水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	◎
契約	工事請負契約の締結（旭ヶ丘住宅 B 棟耐震補強等工事）	同意	◎
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任（森茂氏）	同意	◎
	人権擁護委員候補者の推薦（長谷川繁氏、岩田親典氏、村上鐘治氏）	同意	◎
その他	土地の取得（市道各 378 号線ほか 2 道路用地）	可決	○
	令和 2 年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	◎
	市道路線の認定（市道那 1149 号線ほか 1 路線）	可決	◎
	// （市道那 1148 号線）	可決	◎
	// （市道鵜 1417 号線）	可決	◎
議員提案	市議会会議規則の一部を改正する規則	可決	◎
	出産育児一時金の増額を求める意見書	可決	○
	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決	◎
請願	コロナウイルス検査の拡充を求める請願	継続審査	—
	難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願及び補聴器を保険適用されるよう国に求める意見書の採択を求める請願	継続審査	—
	日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書採択についての請願	不採択	△

一般質問

9月定例会で一般質問をした議員（質問順）

仙石浅善／津田忠孝／横山富士雄／大竹大輔／小島博彦／杉山元則／古川明美

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを、各議員が市に対して質問しました。その一部を紹介します。

令和2年度決算の総括

感染症対策に注力も健全な財政を維持

問

令和2年度の決算をどのように総括しているか。

答

令和2年度当初予算では、「地域力推進予算」と銘打ち、市民が「人とのつながり」「地域とのつながり」を感じられる事業を盛り込んだ。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により「つながりづくり」を大切にしていた多くの施策が中止または縮小といった苦渋の決断を迫られた。

そのような中、本市は新型コロナウイルスに立ち向かうべく数多くの新型コロナウイルス感染症対策事業に取り組んだ。

決算では、市税が8年連続で増収となったほか、適正な執行管理に努めたことなどにより、

一般会計と全ての特別会計において、実質収支が黒字となった。

市債は、順調な償還や利率の見直しの結果、前年度に比べ約21億円減少の約253億円となり、令和元年度に引き続き、基金残高が借入残高を上回った。

問

内容は、

答

新庁舎のハード面としては、耐震性能が向上し、南海トラフ地震などの大地震にも耐えられる免震構造になっている。

新庁舎の防災機能

旧庁舎に比べ、新庁舎で強化された防災設備の内容は、

新庁舎のハード面としては、耐震性能が向上し、南海トラフ地震などの大地震にも耐えられる免震構造になっている。

また、電気や水道などのインフラが途絶えた際のバックアップ機能を強化しており、7日間連続運転が可能な自家発電設備により、庁舎機能を維持することができるとのこと。

ソフト面では、災害対策本部などで利用する「防災システム」を導入したことで、災害情報の集約が容易になり、被害内容の同時共有と迅速な対応が可能になるとのこと。



ソフト面でも強化された新庁舎の災害対策本部

問

移住定住総合窓口「かかみがはらオープンクラス」の取り組みの成果は。

答

平成29年にイオンモール各務原内に窓口を開設し、移住定住を考える方に向けて情報の発信と提供を行ってきた。

市内外から、延べ1万6千人を超える来訪者と、526件の相談があり、53世帯133人の移住につながった。

問

答

コロナ禍やコロナ後を見据えた今後の取り組みは、令和4年度より、新庁舎にオープンクラスを移し、これまでの相談方法に加え、非対面や遠方からの相談にも対応できるようオンラインによる相談を導入する。

また、創設に向けて準備中の「空き家バンク」とも連携し、相談機能の充実を図るなどさらなる移住定住の促進に努める。

移住定住の促進

コロナ禍後の経済対策は

将来を見据えた3つの重点施策に取り組む

問

現在の市内の景気動向はどうなっているか。

答

自動車産業や工作機械産業などでは、中国や米国への輸出額が増加するなど、持ち直しの動きがみられる。

一方、航空宇宙産業では、世界的な旅客需要の激減に伴う航空機体の需要の低迷が今後数年続くと見込まれるなど、依然厳しいと認識している。

問

コロナ禍後を見据えた経済対策は。

答

本市の産業競争力や雇用を支えるものづくり企業の維持・強化に向け、「航空宇宙」「新ビジネス創出」「DX（デジタルトランスフォーメーション）」という3つの重点施策に取り組むことが必要になると考えている。

※DXとは？

デジタル技術やデータを駆使して、作業の一部にとどまらず、社会や暮らし全体がより便利になるよう変革していく取り組みのこと。



燕市で金属加工品を視察する本市職員

問

プレミアム付商品券ではなくキャッシュレス決済を選んだ理由は。

答

①時間をかけずタイムイングよく実施できること、②多くの人員を必要とせず低コストであること、③非接触型で感染リスクが低いこと、④より多くの店舗に利用いただけること、⑤市内外より多くの方々の利用が見込めることなどの点において、優位性があると考えているためである。

問

地域経済活性化への効果をどのように見込むのか。

答

本市には魅力ある飲食店が数多くあり、この事業が新規顧客を掘り起こすきっかけになると考えている。

市内外の多くの方が各務原の味を堪能し、さらなるまちの魅力を感じていただくことを狙った広がりのある事業である。

QRコード決済を未導入の店舗の方には、この機会に導入をご検討いただき、より多くの店舗で多くの方に各務原を満喫してもらええることを期待している。

キャッシュレス決済で飲食業などを支援

問

高齢者などの社会的孤立の防止と安否確認にICTを活用する考えは。

答

疾病のある一人暮らしの高齢者には、緊急通報システムによる緊急時の救急搬送に加え、専門職による健康相談や月1回の安否確認を行っている。

また、電力事業者と連携し、スマートメーター（デジタルで電力の消費量を測定しデータを遠隔地に送ることができる）を活用した高齢者の安否確認などの実証実験を新たに実施する予定である。

社会的孤立を防ぐ対策



ワンタッチで消防署につながる緊急通報システム

大出水により橋脚が傾いた川島大橋

国が県に代わり復旧を行う方向で調整

問 県が管理している川島大橋の橋脚の一部に傾きが確認されたが、その状況は。

答 令和3年5月の大規模な出水で橋脚の基礎の下にある土砂が深さ50cmほど洗い流されたため、沈下し傾いた。

これにより、橋の上部の鋼材に折れ曲がりやねじれなどが生じ、倒壊の恐れがある危険な状態となったため、岐阜県は6月から橋脚と上部の鋼材について緊急対策工事を行っている。

問 川島大橋の復旧に向けた市・県・国の動きは。

答 県では学識経験者や橋梁構造の専門家、国、市などで構成される対策検討会を設置し、現状の調査と補修工法などに関する検討を進めている。

7月15日には、市長が県知事に対し、児童生徒をはじめ地域住民の移動に支障をきたしている現状を説明し、一日も早い復旧の要望を行った。

さらに同月21日には、県知事と市長が、国土交通副大臣に対

し、国が県に代わって工事を行う権限代行制度を利用した復旧に関する緊急要望を行った。

これを受け、8月30日には、国土交通大臣が直接現地を視察し「国が権限代行制度による復旧を行う方向で調整している」との発言があり、早期復旧が期待される。

(この一般質問後の9月3日、国土交通省から、道路法に基づき国が権限代行による復旧を進めることが発表された)



川島大橋を視察する国土交通大臣（左から2人目）

調査の報告

市内の現状を把握するため、委員会で現地視察を行いました。

建設水道常任委員会は、8月5日に市内4カ所の視察を行いました。

▼マンホールトイレ

(那加第一小学校)

本市では、一次避難所に指定されている小中学校のうち、下水道が整備されている学校を対象に、令和2年度から4カ年の計画で、災害時に使用するマンホールトイレの整備が進められている。

今回は、令和2年度に13基のマンホールトイレを整備した那加第一小学校で、実際にトイレ組み立て作業を視察した。

マンホールトイレは、マンホールの上に簡易組立トイレを設置し、プールの水を利用して貯留管に溜まった汚物を下水道本管に流す仕組みになっている。

組立実演を受け、災害時に適切に利用できるよう訓練の実施や、事前確認の必要性を感じた。

また、市からは「男女別の利用や衛生的な利用に配慮した工夫を行い、災害時に効果を最大限に生かせるようにしたい」と説明があった。

そのほか、法面改修と送水設備の更新をした尾崎受水池、新たに整備された桐野公園、今後整備予定の蘇原駅前広場を視察した。



マンホールトイレの組み立て作業を確認する委員

市民の声

こんな街が いいな！



みんなの居場所が 各地にある街

後藤 里奈さん（各務おがせ町）

築60年の空き家を活用して、乳幼児向けの親子サロンや子ども食堂を運営し、行き場のない子ども連れのための癒しの場、情報交換の場づくりをしています。

親子のみならず、孤立しがちな世代に向けての居場所を、空き家などを利用して市内各地に整備できればと思います。

多世代交流の場が複数あれば、人と人とがつながり、眠っていた物や家が必要な人へと渡し、埋もれた人材が力を発揮できます。

そんな良い循環が生まれる居場所がある街にしたいと思います。



雇用が維持され 笑顔がつながる街

石樽 民雄さん（那加琴が丘町）

私は市内で飲食店を38年営んでいます。

コロナで時短営業や休業を余儀なくされる中、古くからのお客さんが励ましてくださり、また、テイクアウトも利用してくださるなど、温かいつながりに感謝しています。

高齢者の多い社会になりましたが、地域の活力のためには若者や子どもの笑顔が不可欠です。

厳しい時代にあっても、若者の雇用がしっかり守られ、自分らしく、人とのつながりを感じられる街であって欲しいです。



人とのつながりが 思い出に残る街

浅野 公介さん（三井東町）

私は各務原で生まれ育ち、小さい頃には友人や町内の方々と桜まつりや盆踊り、市民運動会などに参加し、楽しかった思い出があります。

昨今のコロナ禍で地域の交流は減り、人と人との関係性も希薄になってしまいましたが、コロナが終息したあかつきには、地域行事などが再開されることで、地域の交流が深まり、再びにぎわいが戻ると思います。

こうした行事に参加することが思い出となり、次の世代にも引き継がれていくことを願います。

Q & A 教えて！会派とは？

Q. 会派ってなに？

A. 市政について同じような考えを持つ議員で組織するグループのことをいいます。各務原市議会では、2人以上で会派を結成することができます。

Q. 各務原市議会にはどんな会派があるの？

A. 「政和クラブ（11人）」、「颯清会（4人）」、「市議会公明党（3人）」、「日本共産党各務原市議会議員団（2人）」、「市民派・チームみらい（2人）」があります。

12月定例会の予定

11月26日(金)	本会議（開会）
12月 9日(木)～10日(金)	本会議（質疑、代表・一般質問）
12月15日(水)～16日(木)	常任委員会
12月21日(火)	本会議（閉会）

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、会議の傍聴を制限する場合がございます。

傍聴を希望される方は、事前に議会事務局にお問い合わせいただくか、市議会ウェブサイトをご確認ください。

市議会だより編集委員会

委員長 | 指宿真弓 | 副委員長 | 塚原甫
委員 | 水野岳男 古川明美 井戸田直人 池戸一成

市議会の詳しい情報は各務原市公式ウェブサイトからご覧ください。

各務原市議会

検索



かかみがはら
市議会だより

| 発行 | 各務原市議会 岐阜県各務原市那加桜町 1-69
| 電話 | 058-383-2001 | 編集 | 市議会だより編集委員会

